

「ビジネスアビリティ・プレゼンテーション (BAP)」
について



ビジネスアビリティ・プレゼンテーション (BAP)とは？



障害者が働く事業所は、単に発注の機会を待つだけではなく、企業ニーズに的確に応えるために、自らが持つ技術を磨き、製品の品質を高め、その成果を積極的に提案していくという経営スタイルに転換する必要があります。

BAPは、企業と障害者が働く事業所が一堂に会し、お互いが一歩を踏み出すことで関係を深めるとともに、新しいビジネスを創出することを期待して開催いたします。

プレゼン勉強会

BAP'08開催までに3回の勉強会を実施し、模擬プレゼンによるスキルの向上を図り、参加者全員で意見交換。



「施設の活動紹介をしているだけで、何を売りにしたいかがわからない」

「起承転結がなく、何に興味を持って欲しいかがわからない」

というスタートから勉強会を重ね、本番に備えました。

12月12日(金)BAP'08の開催



持ち時間10分の中で強み、商品力、技術力をアピールしました。



興味のあるブースに立ち寄る企業の方々。74件の商談が行われました。

大津プリンスホテルでの開催は、

一流の会場で、一流のプレゼンを！という当初の想いを実現させるものでした。

来場結果と成果

ご来場いただいた企業・行政関係者

・企業民間団体 39件

・行政関係 11件

全体で約200名のご来場をいただきました。



生まれた企業とのコラボレーション例

企業

障害者が働く事業所

商品企画会社 × 木工製造・販売事業

キャラクターの商品を共同開発し、商品企画会社がユーザーへ提案。提案が受け入れられ、現在商品化され販売中。

企業のメリット・・・

- ・小ロットでの注文にも対応できる。
- ・試作品などにも柔軟に対応できる。

障害者が働く事業所のメリット・・・

- ・単なる請負の仕事ではなく、自らが企画し、提案ができるのでやりがいがあり、収入も大きい。

生まれた企業とのコラボレーション例

企業

障害者が働く事業所

○ A 機器販売業 × 葦紙製品製造・販売事業

イベントのノベルティ商品として、葦カレンダーが採用される。また、社員の方が作業所に出向き、利用者と共にカレンダー作成作業を体験されるなど、企業内啓発活動も実施。

企業のメリット・・・

- ・ 環境分野における社会貢献へは積極的に取り組んできたが、新たに福祉分野に企業として取り組むきっかけが出来た。

障害者が働く事業所のメリット・・・

- ・ 利用者の収入向上のための実際的な取り組みを地域や企業にアピールできる。

「ビジネスアビリティ・プレゼンテーション2009」 にむけて

ビジネスアビリティ・プレゼンテーション2009は、企業と障がい者の働く事業所による新たなビジネスチャンスを提案します。

障がい者の働く事業所は、障がいのある人たちが生き生きと働くことができる地域の実現を目指し、さまざまな取り組みを進めてきました。事業所が提供する製品やサービスの質は高く、自信を持ってお届けします。

事業所が持つサービスを自らアピールすることで、商談が生まれ新たな事業展開の実現に繋がれば幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

B A P 三方よし

福祉よし 企業よし 世間によし

それぞれが新しい一歩を踏み出し、障害のある人たちも無い人たちも働きやすい地域になること、それがBAP開催の目的です。